

第67回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- a. 岐阜商店は、さきに商品 ¥1,350,000 を30か月の均等分割払いで売り渡していたが、本日、第3回目の割賦金 ¥45,000 を現金で回収した。
- b. 売上代金として受け取っていた長野商店振り出し、当店あての約束手形 ¥800,000 について、長野商店から支払期日の延期の申し出があり、これを承諾した。よって、支払期日の延期にともなう利息 ¥5,000 をふくめた新しい手形と交換した。
- c. 静岡商会の本店は、浜松支店が清水支店に現金 ¥230,000 を送付したとの通知を受けた。ただし、本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)
- d. 愛知商事株式会社は、事業拡張のため、あらたに株式500株を1株につき ¥120,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥60,000 は資本金に計上しないこととした。なお、株式の発行に要した諸費用 ¥840,000 は小切手を振り出して支払い、全額を繰延資産として処理した。
- e. 新潟商事株式会社は、法人税・住民税および事業税の確定申告をおこない ¥1,270,000 を現金で納付した。ただし、未払法人税等勘定の残高が ¥1,270,000 ある。
- f. 南東産業株式会社は、決算の結果、当期純損失 ¥360,000 を計上した。
- g. 三重物産株式会社は、割引発行した額面総額 ¥50,000,000 の社債のうち ¥10,000,000 を@¥97 で小切手を振り出して買入償還した。ただし、償還した社債の帳簿価額は ¥9,750,000 である。

2

次の取引を特殊仕訳帳としての売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
iii すでに記入してある取引も転記すること。
iv 総勘定元帳・売掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
v ほかに特殊仕訳帳として、当座預金出納帳・仕入帳を用いている。

取引

1/月/8日 石川商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 250個 @¥800 ¥200,000

20日 石川商店に売り渡した上記商品のうちに品違いがあったので、次のとおり返品された。

A 品 40個 @¥800 ¥32,000

26日 富山商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの約束手形#9で受け取った。

B 品 180個 @¥900 ¥162,000

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 中部商店(個人企業)の下記の引出金勘定と仕入勘定および資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 期首商品棚卸高

b. 営業費

引 出 金			
9/30	現 金	<u>65,000</u>	12/31 資 本 金 <u>65,000</u>
仕 入			
		7,200,000	12/31 繰越商品 ()
12/31	繰越商品	()	" 損 益 ()
		()	()

資料	
i	期首の資産総額 ¥7,250,000
ii	期首の負債総額 ¥2,900,000
iii	期間中の収益および費用
	売上高 ¥9,710,000
	受取手数料 30,000
	売上原価 7,305,000
	営業費 ()
iv	期末の資産総額 ¥8,160,000
	(うち商品 ¥468,000)
v	期末の負債総額 ¥3,240,000

- (2) 北陸商店(個人企業)の本店および支店の損益計算書と未達事項によって、次の金額を計算しなさい。ただし、未達事項整理前の本店における支店勘定の残高は ¥656,000 (借方)、支店における本店勘定の残高は ¥476,000 (貸方)である。

a. 支店勘定残高・本店勘定残高の一致額

b. 本支店合併の期末商品棚卸高

c. 本支店合併の当期純利益

本店 損益計算書			
平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	720,000	売上高	9,175,000
仕入高	6,740,000	期末商品棚卸高	648,000
売上総利益	()		()
	()		()
給料	1,452,000	売上総利益	()
旅費	427,000	受取手数料	90,000
減価償却費	184,000		
雑費	63,000		
当期純利益	()		()
	()		()

支店 損益計算書			
平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで			
費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	360,000	売上高	4,380,000
仕入高	3,470,000	期末商品棚卸高	320,000
売上総利益	1,070,000		()
	4,900,000		4,900,000
給料	685,000	売上総利益	1,070,000
旅費	213,000		
減価償却費	94,000		
雑費	26,000		
当期純利益	52,000		
	1,070,000		1,070,000

未達事項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥ () (原価) が、支店に未達である。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥90,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- ③ 支店で本店従業員の旅費 ¥60,000 を立て替え払いしたが、この通知が本店に未達である。
- ④ 本店で支店受取分の手数料 ¥40,000 を受け取ったが、この通知が支店に未達である。

4

東京商店では伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、

- (1) /月3/日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。
- (2) /月中の純仕入高を答えなさい。ただし、/月/日から/月30日までの総仕入高は ¥7,400,000 であり、仕入戻し高・仕入値引高の合計は ¥182,000 であった。

取 引

/月3/日 新宿商店から商品 ¥450,000 を仕入れ、代金はさきに支払っていた内金 ¥200,000 を差し引き、残額は掛けとした。

入金伝票	出金伝票	売上伝票
当座預金 295,000	買掛金 154,000	品川商店 265,000
売掛金 390,000	当座預金 382,000	足立商店 378,000
受取手数料 25,000	買掛金 296,000	荒川商店 163,000
売掛金 186,000	雑費 18,000	中央商店(戻り) 15,000
() ()	() ()	台東商店 214,000
		() ()

振替伝票(借方)	振替伝票(貸方)	仕入伝票
買掛金 175,000	支払手形 175,000	江戸川商店 142,000
受取手形 327,000	売掛金 327,000	杉並商店(値引) 23,000
雑費 56,000	当座預金 56,000	葛飾商店 189,000
当座預金 34,000	受取手数料 34,000	練馬商店 96,000
() ()	() ()	目黒商店 78,000
		() ()

5

山梨商店(個人企業 決算年/回 /2月3/日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 付記事項の仕訳を示しなさい。
- (2) 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- (3) 総勘定元帳の損益勘定に必要な記入をおこないなさい。
- (4) 貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現 金 ¥ 1,472,000	当 座 預 金 ¥ 2,540,000	受 取 手 形 ¥ 2,000,000
売 掛 金 2,400,000	貸 倒 引 当 金 42,000	有 価 証 券 1,640,000
繰 越 商 品 1,840,000	備 品 1,700,000	備品減価償却累計額 680,000
支 払 手 形 860,000	買 掛 金 1,190,000	借 入 金 1,400,000
従業員預り金 300,000	資 本 金 8,000,000	売 上 21,840,000
受 取 手 数 料 291,000	仕 入 17,230,000	給 料 2,580,000
支 払 家 賃 770,000	保 険 料 221,000	消 耗 品 費 75,000
雑 費 79,000	支 払 利 息 56,000	

付 記 事 項

- ① 甲府商店に対する売掛金 ¥300,000 が当店の当座預金口座に振り込まれていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- 期末商品棚卸高 ¥1,920,000
- 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ3%とする。ただし、貸倒引当金の残高は全額戻し入れること。
- 備品減価償却高 ¥340,000
- 有価証券評価高 有価証券は、売買を目的として保有する大月商事株式会社の株式20株(帳簿価額 @ ¥82,000)であり、1株につき ¥86,000 に評価替える。
- 消耗品未使用高 ¥28,000
- 保険料前払高 保険料のうち ¥156,000 は、本年6月/日に/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- 家賃未払高 ¥70,000

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2

[illegible]

総勘定元帳		
当座預金		2
1/1 前期繰越	980,000	
受取手形		3
1/1 前期繰越	580,000	
売掛金		4
1/1 前期繰越	720,000	
売上		19
売掛金元帳		
石川商店		1
1/1 前月繰越	400,000	
福井商店		2
1/1 前月繰越	240,000	

3

(1)	a	期首商品棚卸高 ㊦	b	営 業 費 ㊦		
(2)	a	支店勘定残高・ 本店勘定残高 の一致額 ㊦	b	本支店合併の 期末商品棚卸高 ㊦	c	本支店合併の 当期純利益 ㊦

試 験 場 校	受 験 番 号

2 級の 1 得点

4 (1)

仕訳集計表

平成○年/月○日

借方	平	勘定科目	平	貸方
		現金		
		当座預金		
		受取手形		
		売掛金		
		()		
		支払手形		
		買掛金		
		売上		
		受取手数料		
		仕入		
		雑費		

(2)

9

5

(1)

	借方	貸方
①		

(2)

	借方	貸方
a		
b		
c		

	借方	貸方
d		
e		
f		
g		

(3)

総勘定元帳

損益

31

12/31 仕入	12/31 売上
" 給料	" 受取手数料
" ()	" 有価証券評価益
" ()	" ()
" 支払家賃	
" 保険料	
" 消耗品費	
" 雑費	
" 支払利息	
" ()	

(4)

貸借対照表

平成○年/2月○日

山梨商店	資産	金額	負債および資本(純資産)	金額
現金			支払手形	
当座預金			買掛金	
受取手形()			借入金	
貸倒引当金()			従業員預り金	
売掛金()			()	
貸倒引当金()			資本金	
有価証券			()	
商品				
()				
()				
備品()				
減価償却累計額()				

試験場校	受験番号

2級の2得点

総得点

1	借 方	貸 方
a	現 金 45,000	割 賦 売 掛 金 45,000
b	受 取 手 形 805,000	受 取 手 形 800,000 受 取 利 息 5,000
c	清 水 支 店 230,000	浜 松 支 店 230,000
d	当 座 預 金 60,000,000 株 式 交 付 費 840,000	資 本 金 30,000,000 資 本 準 備 金 30,000,000 当 座 預 金 840,000
e	未 払 法 人 税 等 1,270,000	現 金 1,270,000
f	繰 越 利 益 剰 余 金 360,000	損 益 360,000
g	社 債 9,750,000	当 座 預 金 9,700,000 社 債 償 還 益 50,000

2	売 上 帳	2
平成 〇 年	勘定科目	摘要
		前ページから
/ /	当座預金	福井商店 小切手
	売 掛 金	掛 け 売 2
		C品 300個 @ ¥700
18	売 掛 金	石川商店 掛 け 売 1
		A品 250個 @ ¥800
20	売 掛 金	石川商店 掛け戻り 売 1
		A品 40個 @ ¥800
26	受取手形	富山商店 約 手 3
		B品 180個 @ ¥900
		852,000 788,000
31		4 852,000
"		総売上高 19 1,640,000
"		売上戻り高 19/4 32,000
		純売上高 1,608,000

総 勘 定 元 帳
当 座 預 金 2
1/1 前期繰越 980,000
受 取 手 形 3
1/1 前期繰越 580,000
26 162,000
売 掛 金 4
1/1 前期繰越 720,000 1/31 32,000
31 852,000
売 上 19
1/31 32,000 1/31 1,640,000
売 掛 金 元 帳
石 川 商 店 1
1/1 前月繰越 400,000 1/20 32,000
18 200,000
福 井 商 店 2
1/1 前月繰越 240,000
17 80,000

3	(1)	a	期首商品棚卸高	¥	573,000	b	営業費	¥	1,800,000			
	(2)	a	支店勘定残高・ 本店勘定残高 の一致額	¥	506,000	b	本支店合併の 期末商品棚卸高	¥	1,038,000	c	本支店合併の 当期純利益	¥

4 (1)

仕 訳 集 計 表					
平成○年/月/日					
借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方	
896,000		現 金		850,000	
416,000		当 座 預 金		351,000	
327,000		受 取 手 形			
1,020,000		売 掛 金		918,000	
		(前 払 金)		200,000	
		支 払 手 形		175,000	
848,000		買 掛 金		955,000	
15,000		売 上		1,020,000	
		受 取 手 数 料		59,000	
955,000		仕 入		23,000	
74,000		雑 費			
4,551,000				4,551,000	

(2)

8,150,000

5

(1)

	借 方	貸 方
①	当 座 預 金 300,000	売 掛 金 300,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 1,840,000	繰 越 商 品 1,840,000
	繰 越 商 品 1,920,000	仕 入 1,920,000
b	貸 倒 引 当 金 42,000	貸倒引当金戻入 42,000
	貸 倒 償 却 123,000	貸 倒 引 当 金 123,000
c	減 価 償 却 費 340,000	備品減価償却累計額 340,000

	借 方	貸 方
d	有 価 証 券 80,000	有価証券評価益 80,000
e	消 耗 品 28,000	消 耗 品 費 28,000
f	前 払 保 険 料 65,000	保 険 料 65,000
g	支 払 家 賃 70,000	未 払 家 賃 70,000

(3)

総 勘 定 元 帳			
損		益	
12/31	仕 入 17,150,000	12/31	売 上 21,840,000
"	給 料 2,580,000	"	受取手数料 291,000
"	(貸倒償却) 123,000	"	有価証券評価益 80,000
"	(減価償却費) 340,000	"	(貸倒引当金戻入) 42,000
"	支払家賃 840,000		
"	保 険 料 156,000		
"	消 耗 品 費 47,000		
"	雑 費 79,000		
"	支払利息 56,000		
"	(資 本 金) 882,000		
	22,253,000		22,253,000

(4)

貸 借 対 照 表			
山梨商店			
平成○年/2月/日			
資 産	金 額	負債および資本(純資産)	金 額
現 金	1,472,000	支 払 手 形	860,000
当座預金	2,840,000	買 掛 金	1,190,000
受取手形(2,000,000)		借 入 金	1,400,000
貸倒引当金(60,000)	1,940,000	従業員預り金	300,000
売 掛 金(2,100,000)		(未 払 家 賃)	70,000
貸倒引当金(63,000)	2,037,000	資 本 金	8,000,000
有価証券	1,720,000	(当期純利益)	882,000
商 品	1,920,000		
(消 耗 品)	28,000		
(前払保険料)	65,000		
備 品(1,700,000)			
減価償却累計額(1,020,000)	680,000		
	12,702,000		12,702,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)